

令和2(2020)年「正覚寺報」8月号

お知らせ

東京ばかりではなく「コロナの第二次蔓延」状況が全国的に叫ばれるようになり、遠出するにも気掛かりなことであります。

総代様のご配慮で本堂には消毒薬を備えて戴きました。マスクばかりは携帯して戴き、お聴聞にお運び下さるようご案内申し上げます。

記

仏教壮年会お聴聞の会(8月2日(日)20時)

仏教婦人会例会 (8月はお休みとします)

歓喜会(かんぎえ)(8月22日(土)午前10時)

近江門徒の気概

「させて戴く」文化は、歴史的に近江門徒の皆様が育て上げられた生活の上の文化であると承ったことは、前に皆様にお話しさせて戴いたことがあります。

大阪の船場に近江商人がお店を構えられるとき、「お寺の屋根が見えるところに」「お寺の鐘の音が聞こえるところに」構えて「させて戴く」浄土真宗のお法りを体現されたとお聞きしました。「北御堂」は、そんな近江門徒の皆様によって建設されたと七月の広大会勉強会で講師からもお聞かせ戴きました。

このところ、ひどい豪雨が続き、熊本の球磨川流域では前代未聞の豪雨災害が襲いました。被害に遭われたお方がニュース報道で「私の家は一階建で危なくなりましたので隣の二階に上げて戴き御世話になりました。まもなく、救援に来て戴いた消防署の皆様にお助け戴きました。と「明るい表情」でお話し

戴いているのが目に留まりました。自らがひどい豪雨災害の被害者だということに、なんとという穏やかな生き様でありましょや。

本願寺新報では現地では十二人の御門徒さんがお亡くなりになったと窺いました。人吉別院も床上浸水に遭われたともお聞きしました。お亡くなりになった皆様、災害に遭われた皆様には哀悼のまことを申し述べ、衷心よりお見舞いを申し述べたいと存じます。人吉には別院がある程に豊かな浄土真宗のお法りの土壌であります。

第二次大戦で杉原 千畝がお救いしたユダヤ人の皆様カナダにお渡りになった後に、滋賀県からカナダに渡られた近江門徒の皆様が人権侵害でご苦労になったとき、ユダヤ人の皆様がお助け下さり、何よりもの想いから現地でお寺も建立されるに到ったとのお話しも広大会で窺いました。

今生の命を終えられたお方のお話に接するとき、『往観偈』の御文が目には浮かびます。

其佛本願力(ごぶつほんがなりき)

聞名欲往生(もんみょうよくおうじょう)

皆悉到彼国(かいしつとうひこく)

自致不退転(じちふたいてん)

この内「聞名欲往生」の御言葉が胸にせまります。諸仏如来がお称えになる名号讃嘆の御文をお聞かせに与るとき、阿弥陀如来が煩惱具足の凡夫に仰せになる「お浄土に生まれて来るんだよ」との御言葉にお委せして歩む人生のなんと尊いことでありましょ。合掌。